

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月24日

計画の名称	「環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち」の実現に向けた汚水処理対策の推進												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市												
計画の目標	沼津市では、第四次沼津市総合計画において、市民が日常生活の中で安全・安心を実感し、将来にわたり快適に暮らせるまちづくりを進めるため、「環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち」の実現に取り組んでいくこととしている。このうち、環境にやさしいまちの実現に向けた取り組みとして、河川や海の水質保全のため、計画的かつ効率的に下水道を整備する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,697	A	1,697	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)
1	・下水道処理人口普及率を57.8%(H27)から60.0%(H29末)に増加させる。 下水道処理人口普及率(%) $\text{下水道処理人口(人)} / \text{沼津市の人口(人)} \times 100$	58%	59%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	西部処理区污水管渠整備 (未普及解消)	污水管 A=31ha	沼津市						597	-	
	A07-002	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区污水管 渠整備(未普及解消)	污水管 A=37ha	沼津市						1,075	-	
	A07-003	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	効率的な事業実施のため の計画見直し	未普及解消アクションプラン 策定	沼津市						25	-	
												小計						1,697	
												合計						1,697	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

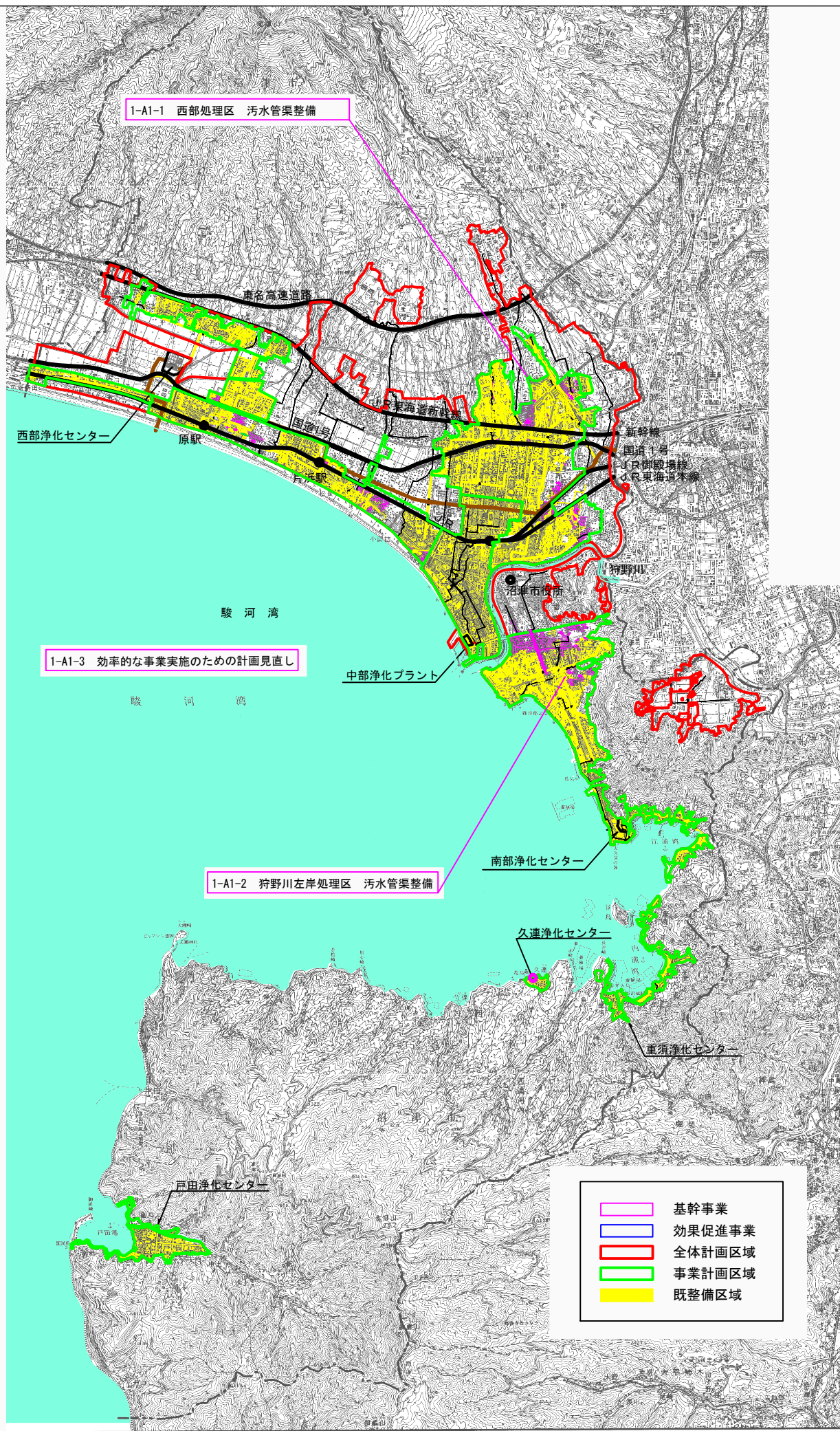
	H27	H28			
配分額 (a)	464	182			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	464	182			
前年度からの繰越額 (d)	98	172			
支払済額 (e)	390	307			
翌年度繰越額 (f)	172	47			
うち未契約繰越額 (g)	4	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0.71	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称 「環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち」の実現に向けた汚水処理対策の推進

計画の期間 平成27年度～平成29年度（3年間）

交付対象 沼津市



- 基幹事業
- 効果促進事業
- 全体計画区域
- 事業計画区域
- 既整備区域

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 「環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち」の実現に向けた汚水処理対策の推進

事業主体名: 沼津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の機運	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○